



町長エッセイ



小川町の文化イベントとしてすっかり定着し、第21回となった「武蔵の小京都おがわを描く展」が埼玉伝統工芸会館で開催され、一般の部には町内外から115点、町内の小学生・中学生からは64点が寄せられました。いずれも小川町の魅力を感じ性豊かに表現した力作ばかりです。学生の部には今年から「ホルベイン賞」が加わりました。大賞選考審査員は小川町出身で新進気鋭の若手洋画家、奥村幸弘氏があたりました。

梅の花が満開の3月17日、仙元山見晴らしの丘公園では「平成最後の植樹会」が行われました。公園の展望台から小川町が一望でき、四季を通して楽しめる公園として親

しまれています。その公園の魅力をさらにアップさせるために、スポーツ少年団の子ども達が、河津桜と山モミジを植樹しました。場所は見晴らしの丘公園、ローラーすべり台乗り場のエリアです。

植樹のあとに子ども達と一緒に203mのローラーすべり台に挑戦しました。木々の成長と子ども達の成長を見守りつつ、より多くの皆さんの憩いの場となるような整備を進めたいと考えています。

松本恒夫